

平成26年9月の船舶事故・人身事故発生状況（速報）

1 船舶事故

(1) 船舶事故は16件17隻（前年22件27隻）で、前年と比べて10隻減少し、死者・行方不明者は0人（前年1人）でした。

(2) 今年9月までの船舶事故数の累計は157件184隻（前年177件216隻）で、前年に比べ32隻減少しています。

死者・行方不明者の累計は11人（前年7人）で、前年と比べ4人増加しています。

(3) 船種別では、17隻中13隻がプレジャーボートによる海難で、全体の約8割を占めています。

海難種類別では、乗揚が5隻と最も多く、次いで機関故障が4隻となっています。

2 マリンレジャーに伴う人身事故

(1) マリンレジャーに伴う人身事故者数は18人（前年16人）で、死者は1人（前年2人）でした。

死者1人は、釣り中の事故でした。

(2) 今年9月までのマリンレジャーに伴う人身事故者の累計は114人（前年120人）で前年に比べ6人減少しています。

死者・行方不明者の累計は19人（前年17人）で、前年と比べ2人増加しています。

(3) 9月の事故者の主な内訳は、釣り中9人（前年5人）、サーフィン中2人（前年2人）となっています。

釣り中の事故の内訳は、帰還不能が5人（前年3人）、海中転落が3人（前年2人）、負傷者1人（前年なし）で、事故者9人のうち4人はライフジャケットを着用していませんでした。

また、海中転落者3人全員がライフジャケットを着用しておらず、うち1人は死亡事故となっています。

※帰還不能とは、漂流や防波堤や磯などで孤立し、陸岸に戻れなくなったことをいう。